

事務事業名	健康増進計画・食育推進計画策定進行管理事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5216					
	□ 実施計画事業		所属課室	健康増進課	課長名	深澤 秀					
			所属担当	健康企画担当	担当者名	塚原麻理					
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	18	健康づくりの推進	事業区分	01	一般	04	01	02	040	04	
施策	31	保健・医療の推進		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業						
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業						
事業費の概要	法令根拠		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)								
	事業の内容...期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 合併後、平成16年度に第一次健康かがやきプランを策定した。第1次計画が21年度に5か年の計画期間が終了。平成20年度、21年度の2年間をかけて、次期計画となる第2次健康増進計画・第1次食育推進計画を策定した。重点目標として「食育の推進」「運動不足の解消」「こころの健康増進」を掲げているが、今後はさらに計画の推進を図る。南アルプス市健康づくり推進協議会、南アルプス市健康を考える会の委員を対象とした研修会を開催し、各団体の活動に生かしていただく。 予算について平成26年度新規予算へ含管		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
			臨時職員賃金	42							
			消耗品費	2							
			印刷製本費	455							
			通信運搬費	452							
			調査研究委託料	1,733	計		2,684				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	第2次健康増進計画・第1次食育推進計画(10年計画)の中間評価の年であり、市民へのアンケート調査を実施し、計画の推進状況を評価
	27年度活動予定	中間評価結果に基づき計画を推進する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	1) 健康づくり推進協議会委員及び健康を考える会委員 2) 各種団体(健康を考える会委員が所属している組織、団体) 3) 全市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	1) 自らの健康増進のため、日常生活において、食や運動、こころ等の健康づくりに取り組みことができる。 2) 各種団体において健康づくりに関連する事業に取り組むことができる。 3) 健康づくりに関連する事業に参加して健康づくりに関心をもつ。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民が生涯をおとして健康でいきいきと健やかな生活を送ることができる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 健康づくり推進協議会及び健康を考える会研修会回数	回
	イ 健康を考える会、健康づくり推進協議会研修会参加延べ人数	人
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 健康づくり推進協議会委員及び健康を考える会委員数	人
	イ 健康を考える会委員が所属する団体数	団体
	ウ 総人口(4月1日現在)	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 「日常生活において運動や食事等の健康づくりに取り組んでいる」と答えた委員の割合	%
	イ 「自分自身が所属する団体で健康づくりに関連した取り組みを行なうことができた」と答えた割合	%
	ウ 「健康づくりに関心を持てた」と答えた参加者の割合	%
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 「健康のために何らかの運動をしている」と答えた市民の割合	%
	イ 「ストレスを解消できている」と答えた市民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	682	43	3,248	112	112			
		事業費計(A)	千円	682	43	3,248	112	112	0	0	
		人件費	千円								
年間トータルコスト	人件費	正規職員従事人数	人	6	5	11	6	6			
		延べ業務時間	時間	27	30	172	96	96			
		人件費計(B)	千円	123	137	783	437	437	0	0	
		(A)+(B)	千円	805	180	4,031	549	549	0	0	
		活動指標	ア	回	2.0	3.0	10.0	6.0	6.0		
			イ	人	48.0	73.0	356.0	240.0	240.0		
		対象指標	ア	人	69.0	66.0	66.0	66.0	66.0		
	イ	団体	46.0	45.0	45.0	45.0	45.0				
	ウ	人	73,684.0								
成果指標	ア	%	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0				
	イ	%	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0				
	ウ	%									
上位成果指標	ア	%	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0				
	イ	%	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成16年度に第1次健康増進計画が策定され、平成17年度から計画の推進と進行管理を行なった。平成21年度に第2次健康増進計画、第1次食育推進計画が策定され、平成22年度から計画の推進と進行管理を行って
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	第1次健康増進計画策定時は、旧町村の色が濃かったように思うが、合併して10年が過ぎ、以前に比べ地区同士の垣根が低くなったのではないかと。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	自分自身の健康に留意していきたい、所属している団体として、研修会で学んで事を生かして市民に伝えていきたい等の意見が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成22年度から、活動は市一本化とし、健康を考える会委員全員を対象として研修会等を行なうようにした。平成23年度には、活動をより効果的に進めていくために、健康を考える会委員の見直しを行い、活動内容に合わせて組織を一本化した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	健康増進計画・食育推進計画策定進行管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 健康かがやきプランのめざす姿は「健康で豊かな人生を実現するために一人ひとりが実践し、みんなが支えあうまち」としており、総合計画の「健康づくりの推進」の施策と結びついており、意図も上位目的と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 健康増進法、食育推進基本法において、地方公共団体の責務については、健康増進法第3条、食育推進基本法第10条、市町村計画策定に関しては、健康増進法第8条、食育推進基本法第18条に市町村の責務は明記されている。法律に基づいた計画策定と進行管理においては公共関与は必要である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 健康増進法、食育推進基本法において、地方公共団体の責務については、健康増進法第3条、食育推進基本法第10条、市町村計画策定に関しては、健康増進法第8条、食育推進基本法第18条に市町村の責務は明記されている。法律に基づいた計画策定と進行管理においては公共関与は必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力を現する事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 今年度は中間評価の年であり、目標値や取り組みの方向性を見直すことで健康に対する市民の意識を維持・向上させることができる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 計画の進行管理を廃止することで市民の健康づくりの推進計画は継続していくものであるため、進行管理も継続していく必要がある。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 計画の進行管理を廃止することはできない
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 平成26年度は、計画の中間評価の年であり、各地区担当保健師も会議に出席し、市民と協働で計画を推進していくことが望ましい。そのため、人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 健康かがやきプランの推進を担う健康を考える会の委員は、組織や団体の代表者であり特定の人だが、組織や団体が全市民を対象として活動していただいているため、市民に還元できており、公平性は保たれていると思われる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	健康かがやきプランや食育推進計画について委員に毎年広報している。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 今年度は中間評価の年であるため、事業経費の削減は厳しいが、健康増進計画・食育推進計画の評価を行うためために、市民アンケート調査を実施し、目標値の再設定や取り組みの方向性を見直すことで、今後の健康づくりの増進に向けた取り組みを強化することができる。 また、各団体構成員と地域の課題や取り組みの方向性等を共通認識し、団体構成員を通じて一般市民に広く啓発していく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 中間評価の結果から、今後の健康を考える会の活動に反映させていく。また、市民にも中間評価の結果を示し、健康増進のための意識の向上を図る。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					